令和７年７月１日現在

総世帯数	1,357世帯
総人口	2,331人
男	1,115人
女	1,216人

町会の人々が集う場所として

南源地町会　茅野　俊幸

私たちの町内会には町会の人々が集える公民館はありません。町会の方々は、何処で会合や行事をおこなっているかというと、うちのお寺（瑞松寺）を町内公民館代わりとして利用しています。お寺を町会に貸し出すようになったのは、先々代の時代からですので、60年以上前になると思います。町会の役員会、総会に利用するだけでなく、春は敬老お花見会、秋は蕎麦会と高齢者の方々でも気軽に集える場所として親しまれてきています。

30年ほど前には町会の備品を管理する倉庫が古くなり、お寺の車庫に備品を移動しました。河川清掃の道具、子ども神輿や防災備品等を納めています。特に、防災部長さんから「車庫を防災備品のストック場所として利用出来るのは有難い」とのお声を受けて今後の災害に備えて、町内会で防災用品を増やしストック出来る場所としていけたらとも思っています。

ところで、私は長年、NGO（非政府組織）の役員として幾つもの地震災害の現場の支援に入ってきています。特に東日本大震災では、指定避難所が津波で流される等、指定避難所が使えないケースもありました。想定外の災害が起こった時のためにも、自主避難所として町会の方々にお寺を開放し、一時避難場所として活用していただけたらとも思っております。特に、要支援、要介護の高齢者の方々には畳で横になれる場所が必要となります。そんな時、お寺の広間の畳の部屋を利用していただくという事もより有効かと思っています。平時であっても、災害時であっても地元の皆さんのお役に立てる場所として、今後も瑞松寺は南源地町内公民館として存在していくことでしょう。

南源地町会敬老お花見会
令和７年４月27日　瑞松寺にて

私の「もやもや」の気持ち

宮村町一丁目町会　手塚　勝彦

皆さんそれぞれ趣味をお持ちになって人生を楽しんでおられることと思いますが、私は後期高齢者の仲間入りをしてからというもの、体力、気力ともに衰え始め、若い頃には簡単にできた色々なことがスムーズに運ばなくなってきました。趣味のサボテン栽培でも植え替え作業などが億劫になってきました。

思い返してみると今から60年位前、私が中学生だった昭和30年頃にはサボテンブームがあり、多くの人が競ってサボテンを栽培していたものです。私も少ない小遣いを貯めてはサボテン屋さんに行って気に入ったものを買ったりして楽しんでいました。しかし地元を離れた学生時代の４年の間にそのほとんどを失ってしまいました。

社会人となってから再度収集を始め現在に至っておりますが、世に言う「好きこそものの上手なれ」の言葉はどうも私には当てはまらないようで、水を与えすぎて腐らせたり、冬の寒い時期に凍らせてしまったりと失敗の連続で沢山ダメにしましたが、失った以上に新たに購入するなどを繰り返してきた結果、今ではかなりの鉢数となり、ビニールハウスは満杯状態です。手入れも満足にできなくなった最近の状況では何年も植え替えしていない鉢もあり、サボテンの生長に悪影響を及ぼしています。

妻も子もサボテンには興味がなく「後に残されても困るから体の動く今のうちに処分して」と言われ続けている始末です。今までにも何度か貼り紙を出して家の前に並べて自由に持ち帰ってもらっていますが、なにぶん今まで大事に育ててきた物ですから、処分するのに少なからず気持ちにもやもやしたものが生じてしまうのです。

サボテンの鉢で満杯になっているビニールハウス

福祉ひろば事業推進協議会視察研修
～フォッサマグナミュージアム～

去る6月23日、第二地区福祉ひろば事業推進協議会の視察研修に随行しました。今回の視察先は新潟県糸魚川市にあるフォッサマグナパーク及びフォッサマグナミュージアムで、総勢15名の皆様が参加されました。

フォッサマグナ（ラテン語で「大きな溝」の意）パークは姫川支流の根知川沿いにあり、糸魚川－静岡構造線断層帯の境界が見学できる場所です。断層は幅・高さともに約10m。右側（東側）の地層は茶褐色で、約1600万年前にできた北米プレートです。また、左側（西側）の地層はほぼ白色で約2億7000年前にできたユーラシアプレートです。糸魚川がプレートの境界であることを目の当たりにできる貴重な場所だと感じました。

フォッサマグナミュージアムでは、糸魚川市の小河原学芸員から糸魚川で取れるヒスイや市内の名所、断層帯などについて、丁寧に分かりやすく解説していただきました。

その後、館内で化石、鉱物などの展示物や日本列島の成り立ちが分かる映像などを時間の許す限り見学し、見分を広め、充実した視察研修になりました。

フォッサマグナミュージアムはユーラシアプレート（西）と北アメリカプレート（東）の境に設置され、両方の地層を見ることができる

令和7年度 公民館五部門委員

（◎：委員長　○：同副）

◆**運営委員**
町会連合会会長　◎上條　一茂
〃　副会長　○村上　重義
〃　副会長　○青柳　茂
〃　会計　丸山　悦雄
福祉ひろば事業推進協議会会長　太田　賀夫
町内公民館長会会長　鴻田　益孝
民生・児童委員協議会会長　井上真由巳
日赤奉仕団分団長　伊藤　睦子
ボランティア部会会長　千田　圭子
子ども会育成会会長　横内　秀明
体育協会理事長　北川　清三

◆**館報編集委員**
北源地　◎筒井　完次
錦町　○青柳　孝明
梅ケ枝町　川上　明彦
飯田町2丁目　村上　重義
小池町　宮澤　泰也

◆**体育委員**
南源地　◎秋山　博見
長沢町　○木下　眞吾
南源地　相河八千代
栄町　前川　信俊
中条東第1　武井　一幸
中条東第2　西　弘子

◆**図書視聴覚委員**
中条東第4　◎丸山　公正
中条東第2　○荒井今朝治
北源地　松田　妙子
梅ヶ枝町　降簱　勝一
長沢町　清澤　梁一
飯田町2丁目　中藤　美春
小池町　小林みち子
中条東第2　上條美代子

◆**文化委員**
南源地　◎三村　隆彦
南源地　○伊藤　博敏
常盤町　○寺嶋　修
北源地　大野　貴由
宮村町1丁目　伴　吉宏
梅ヶ枝町　横山　徹
錦町　大澤　一夫
栄町　大久保庸夫
天神南小池町　横山和日光
飯田町1丁目　大野　幸司
中条東第1　西村　好寛
中条東第2　西　寿久
中条東第4　上兼　誠市
……
常盤町　市川　英夫
北源地　牛丸　一利
南源地　茅野　俊幸
宮村町1丁目　手塚　勝彦
宮村町2丁目　廣田　純子
長沢町　細田　良子
錦町　清水　末子
栄町　柳沢　慎吾
向島　永田　洋子
天神南小池町　横山　和明
飯田町1丁目　林　真
飯田町2丁目　村上　圭子
中条東第2　上條千枝子
中条東第3　青柳　和代
中条東第4　小笠原利恵
……
錦町　井野根　修
錦町　古賀　寛
錦町　青柳小百合
中条東第2　岩佐　晃子
飯田町1丁目　太田美恵子
栄町　下林ゆかり
向島　竹内　優
小池町　小林　寛

すすき川

今年3月に23年間通院した信州大学附属病院眼科の検査入院時からの主治医が、親の介護で故郷に戻るからと退職され、5月に最後の診察時に、今後の担当医を昔信大病院に紹介状を書いていただいた町の眼科に決め、大学病院からの紹介状をお願いしました。その病院は今では子どもさんが医院を継いでいるとのことでした。

私の病名は緑内障です。毎晩両目に眼圧を下げる点眼を続けています。3ヶ月に一度の検診で眼圧を測り、半年毎・一年毎に暗室で眼気を我慢して各種検査を続けてきました。右目は半分以上欠損し、左目だけは何とか視力を残そうとしてきました。眼圧も現在は正常値で進行も抑えられている状況です。私の母親も、祖父も緑内障でした。

若い頃、健康診断で眼圧が少し高めですと言われた時に眼科の診察を受けていればと今になって思います。両目で物を見ているので自覚症状や違和感がなく日常生活に不便は感じられませんでした。これからも生涯通院が続きますが、白内障も出てきました。

（筒井）